

## シロコタケノコに関する研究 (Ⅱ)

## — 北九州の栽培形態 —

福岡県水産林務部 奈須 鉄也  
 福岡県八幡農林事務所 中野久美子  
 福岡県林業試験場 野中 重之  
 九州大学農学部 吉良今朝芳

## 1. はじめに

前報<sup>1)</sup>で報告したが、近年中国産のタケノコ特に缶詰製品の輸入が急増し、これと競合する国内産の加工用タケノコの価格が下落している。こうした中で、北九州地域では経営規模を縮小しながら、良質青果タケノコの生産へと栽培の転換を始めている。そこで今回は、シロコタケノコを多く生産する地域の栽培技術の現状について調査をおこなった。

## 2. 調査方法

北九州地域の中でもシロコタケノコが多く生産される地域のタケノコ栽培農家の竹林調査と単位農協の資料をもとに解析した。

## 3. 結果および考察

A, B, Cの生産農家の竹林調査を行った。

## (1) 土壌の特徴 (表-1)

Aは非常に粘性が強く、小石や砂はほとんど含まれていない。Bは粘性はあるが細かい砂を含んでいる。Cは粘性はBよりも強いが風化していない小石の粒を含んでいる。

## (2) 竹林調査の結果 (表-2)

竹林の特徴は、Aは早出しに向く日当たりではないが、土壌が青果用タケノコに適しているため90%という高い青果率となっている。Bは日当たり・土壌とも青果用タケノコに向かない条件であるが、客土をはじめとした集約的な手入れを行い60%という青果率を達成している。Cは日当たり、土壌とも早出し青果タケノコに比較的適した条件で適切な管理を行っている。

## (3) 時期別出荷量と販売単価 (図-1)

棒グラフでは、青果タケノコ出荷量の時期別推移に対するシロコタケノコの対比を行った。最盛期以降シ

ロコタケノコの割合が増えているのがわかる。

折線グラフは、販売単価の時期別推移を示している。

## (4) 栽培の特徴

① Aは条件に恵まれている中で早期収穫に努めているため、品質が良く高い価格で推移している。

② Bは条件が悪いが客土を行い早期収穫に努めているため2番目の品質を維持している。

③ Cは条件は良いが早期収穫が遅れがちとなるため3番目の品質となっている(経営規模がA, Bの3倍程度であるため)。

以上3生産農家の中でもBの栽培技術がシロコタケノコの生産に大きな効果を上げている。

## Bの栽培技術の特長は

- ① 客土を毎年行っている。
- ② 客土した後を早期収穫の重点としている。
- ③ また、親竹管理・肥培管理にも重点をおいている。
- ④ 青果用と加工用の竹林を区別して掘取を行っている。

以上のようにシロコタケノコの生産を明確な収穫目標として栽培に取り組んでいることで一定の成果を上げている。

## 4. おわりに

北九州のタケノコ生産は加工用から青果用への転換期にあるが、その方法として補助事業を導入した客土の推進が効果を上げ始めている。

しかし、どのような客土の方法がシロコタケノコの生産に効果的であるかは課題となっており、今後解決していく必要がある。

## 引用文献

- (1) 奈須鉄也ほか：日林九支研論，45，263～264，1992

Tetuya NASU (Dep. of Fishery and For. Fukuoka Pref. off., Fukuoka 812), Kumiko NAKANO (Yahata Br. Fukuoka Pref. off., Kitakyushu 807), Shigeyuki NONAKA (Fukuoka Pref. Forest Exp. Stn., Kurogi, Fukuoka 834 - 12) and Kesayuki KIRA (Fac. of Agric., Kyushu Univ., Fukuoka 812)

Studies on Shiroko bamboo sprouts (Ⅱ) System of overivation in north Kyushu prefecture

表-1 1992年9月19日土壌調査-  
北九州市小倉南区合馬

区分	位置	土色	土性
A	表土	5YR4/6	埴土
	20cm	5YR4/6	埴土
B	表土	5YR4/4	微砂質埴土
	客土用	5YR4/6	埴土
C	基土	2.5YR5/6	埴壤土
	20cm	5YR3/4	埴土

表-2 1992年9月19日 竹林調査-北九州市小倉南区合馬

区分	方位	標高 (m)	傾斜 (度)	立竹数 (10A当たり)	客土の深さ (cm)	青果率 (%)
A	北西	30	20~25	230	-	90
B	北東	70	12~18	270	10.6	60
C	南東	40	15~20	170	-	75

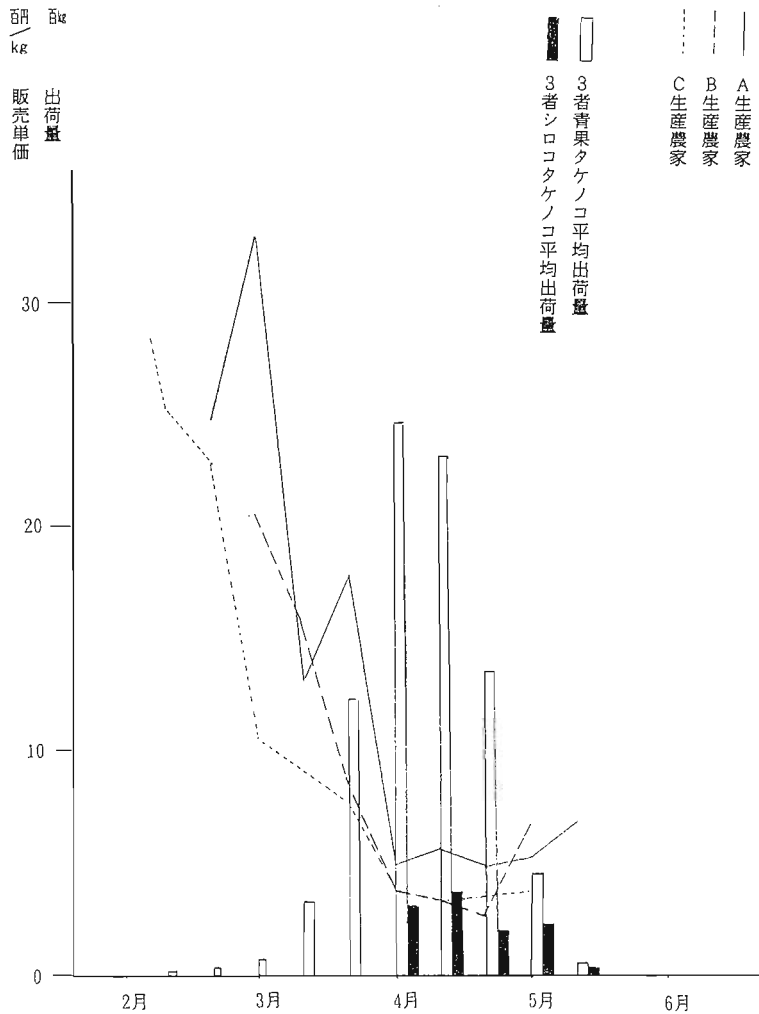


図-1 時期別出荷量と販売単価 (1992年次京都・大阪市場)

\*シロコタケノコ：皮部及び肉質部とも白色で、幼根も白色である。